

# うるま市議会

## だより

第13号

平成20年(2008)  
発行/9月5日



7月26日に開催された「ひまわり収穫祭 in 津堅島」の様子

### 一般質問 (6月定例会)

6月定例会には、20名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。紙面の都合上、簡潔な表現になっております。なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会のホームページでご覧ください。

目

次

一般質問	2
第35回定例会	12
第36・37・38・39臨時会	13
第40回付議事件名(9月定例会)	14
うるま市議会組織構成図	15
抗議決議・要請行動	16

■発行：うるま市議会 ■編集：議会広報編集調査特別委員会

住所 〒904-2292 うるま市みどり町1-1-1 電話 098-973-3511 FAX 098-973-8123



一 後期高齢者医療制度問題について  
 二 体育館問題について  
 三 うるま市男女共同参画行動計画について  
 四 合併特例債事業について

田中直次

一 後期高齢者医療制度問題について

**質問** 世帯主をサラリーマンの息子に代わって、後期高齢者の方がなる（世帯主の変更）、息子の所得は合算されない。そうすると、保険料は後期高齢者の夫婦だけの収入の合算で計算するので、六万八千九百四十四円になる。従って世帯主が息子のままでと保険料は十一万七千三百八十四円です。差し引くと四万八千四百四十円になる。その分は安くなるのか。

**答弁** 市民部長 モデルケースの保険料軽減の照会については、間違いないです。その本人以外の世帯者がいる場合には、その世帯主の所得も基準所得に含まれます。該当者本人が世帯主となれば、軽減判定基準所得が低くなり、二割軽減が七割軽減となるケースもある。

二 体育館問題について

**質問** 改築予定の与那城小体育館を除くと、小学校では、川崎小学校が一番古い体育館になる。平安座中学校とあわせて実施計画も含め、早急な建設をお願いしたい。川崎にはキヤンプ・マクトリアス内にベクトル小学校があり、日本の税金で立派な体育館ができています。一方、川崎小学校は三十二年の古い建物です。行政の力を発揮してほしい。

答弁 教育部長

川崎小学校体育館の整備時期については、教育委員会内部で総合的な観点から十分検討して考えていきたい。

三 うるま市男女共同参画行動計画について

**質問** うるま市も条例の制定を。

**答弁** 企画部長 条例制定については、平成二十一年度以降に検討している。

**質問** 男女共同参画のための専門的な相談窓口の設置について。

**答弁** 企画部長 行政改革大綱、財政計画とも関連しますので、総合的に検討していくことが理想ではないかと考えている。

四 合併特例債事業について

**質問** 市営住宅、学校施設（校舎・体育館）、保育所予算への活用を重視している。また、市営団地の建設の計画は。

**答弁** 企画部長 結果として、住環境、教育、福祉の充実に向上のために大方が充てられているという状況です。

**答弁** 建設部長 市営住宅は、（平敷屋漁港から屋慶名港よりの県道具志川与那城線に隣接する与那城饒辺と勝連平敷屋に）平成二十一年から平成二十三年度までの間に事業着手していきたい。



一 津堅島トマイ浜（津堅ビーチ）の砂浜の侵食に関連する事項について  
 二 沖縄コミュニティ・アイランド事業「キャロット愛ランド」及び津堅ビーチの整備・活性化に関連する事項について

金城勝正

一 津堅島トマイ浜（津堅ビーチ）の砂浜の侵食に関連する事項について

**質問** 台風時の潮流によって、神谷庄側の砂浜が著しく侵食され、陸地側を保護する「ふとんかご」がむき出しになっている状況であり、これからの台風シーズンを迎えるに当たって、緊急に対策が必要であると共に、長期的には抜本的な対策が必要だと考えますが。

**答弁** 経済部長 現場を管理する南

部林業事務所に対して、現状のネットがむき出しの状況のままでは景観も悪く、また若干この工事施工場所の損壊もみられるということを伝える

たところ、今回の事業の復旧的な工事は前向きに検討していきたいとのこと。しかし当該工事で修復したとしても、ネット「ふとんかご」のむき出した部分を覆い隠す程度の砂を補給する位しかできないとの回答を得ている。

**二 沖縄コミュニティ・アイランド事業「キャロット愛ランド」及び津堅ビーチの整備・活性化に関連する事項について**

**質問** 平成十九年度からキャロット

愛ランド事業としての管理者を廃止

し、管理棟の賃貸をせず閉鎖していることから、テント・シャワーの清掃管理についてもうまくいっておらず、キャロット愛ランド事業の主旨が機能していない状況だが。

**答弁** 都市計画部参事 「キャロット愛ランド」の公園の管理については、平成十七年度、平成十八年度も地元の津堅自治会が委託管理をしていたが、自治会との話し合いをしたところ、継続して自治会で管理するのは非常に厳しく、平成十九年度からは、本市のシルバー人材センターに管理委託をしている。

**質問** 「キャロット愛ランド」の管理棟の賃貸契約については、見直すなど、管理方法をしっかりと定めた上で、公正公平に管理者を選定し、従来の管理体制をしっかりと復活させるのが、当局の務めではないのか。

**答弁** 都市計画部参事 管理棟を使用させることについては、地元の旅館や観光関係と釣り人、ダイビングの人にならなからず影響を与えることが予想される。慎重に対応する必要がある。地元が混乱を招かないような形で、十分話し合いながら検討していきたい。



一 市財政について  
二 道路整備について  
三 選挙について

しま たくふみ こうせい  
島袋 行正

一 市財政について

**質問** 今世界で起きている、原油や食材の高騰が本市の財政と学校給食に与える影響は。

**答弁** 総務部長 原油高に伴い、平成十九年度に公用車の燃料の契約単価変更を四回行ってきた。当初レギュラーガソリン単価がリッター当たり一九九円が最終的に一四〇円まで値上がりし、約一七％の上昇である。平成二十年度も当初一四〇円で契約しているのが六月時点で一五七円まで上昇しており、今後も市場状況ではさらに上る見込みです。平成十九年度、公用車の燃料費は四千七百二十四万六千円であり、平成二十年度当初は五千四百八十八万二千円計上して、七百六十三万六千円の増、一六・二％の上昇率です。

**答弁** 指導部長 学校給食物資を納入する業者からは値上げの要請が出てきている状態です。子供たちの食に関して、献立や調理等を工夫している。

**質問** 市財政に対する対策は、ま

た学校給食の値上げはあるのか。

**答弁** 総務部長 現在本市の車両は約三百十四台で順次軽自動車に切り替えていく。現在軽自動車に替えたのが三十三台あります。平成二十年度も九台替える予定です。洗車は地下水を利用するよう心がける。

**答弁** 指導部長 食材や献立を工夫して、現在のところ、値上げは考えていない。

二 道路整備について

**質問** 中城湾港から臨港道路七号線が県道十六号線にアクセスされる場所の整備予定は。

**答弁** 建設部長 県道十六号線の整備予定はない。ただし臨港七号線の附帯整備で、道路案内標識と道路照明がつく予定です。

三 選挙について

**質問** 県議選挙で、期日前投票の場所が本庁一カ所に決まったわけは。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長 定員適正化計画による事務局職員の減員による合理化の為、本庁一カ所に定めることになりました。



一 建築確認の事前審査の恒常化について  
二 期日前投票場所について  
三 福祉センター駐車棟工事について

まつだ ひさお  
松田 久男

一 建築確認の事前審査の恒常化について

**質問** 事前審査が延長されたが、県においてももうま市においてもその影響は大きい。延長ではなく恒常的に行えないか。市の考えを伺うと共に県や国に対して訴えて欲しい。

**答弁** 都市計画部参事 三回目の延長を行ったが今回は明確な期限を設定していない。恒常的に行う事は法律の趣旨からたいへん厳しい。

二 期日前投票場所について

**質問** 投票率向上の為の措置であるはずの期日前投票所が今回から、石川、勝連、与那城地区から奪われた。将来の為に痛みを分かち合って実行したはずの合併においては地域間格差を最小限にするのが前提ではなかったか。これは投票率向上の努力に逆行していないか。また選挙は投票率向上の為にどのような努力をしてきたか伺う。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長 昨年の参院選挙では期日前で八千三百六十六名、今回県議選では五千九百八十二名であり期日前投票は浸透している。投票率向上の為に選挙ができることには限界があり、選挙が何らかの方策を講じれば効果が上がるものではない。

**質問** 逆行していないかと質問しているのにそれに答えて欲しい。人員削減で仕方なく減らしたと、他の議員に答えているが、役所職員は何人居るのか、なぜ柔軟な対応ができないのか。なぜ三箇所を削るのがそんなに大事なのか。次回は元に戻してくれるのか伺う。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長 期日前投票者数は同じ程度であったと考えている。また期日前投票所が複数あるのは那覇市と宮古島市だけである。次回については選挙管理委員会に一応報告する。

三 福祉センター駐車棟工事について

**質問** 福祉センター駐車棟工事の発注については一部に社独占指名の工事があり、その結果独占業者が入札参加企業に対して前例の無い見積り書の提出を行った。その提出日は入札前夜であり企業が対応できなかったのみならず、依頼していない工事も勝手に含めて桁違いの金額の提示であった。なぜこのような社独占の設計を行ったのか。

**答弁** 建設部長 そのような事態は大変遺憾であり有ってはならない。まだ把握していないが事情聴取し十分確認して工事の完成に向けて指導監視を行いたい。



一 地域イントラネット整備事業について  
 二 台風四号の被害、その後の対応について  
 三 コミュニティバスの運行状況について  
 四 期日前投票の意味について

安里純哲 あさとじゅんてつ

一 地域イントラネット整備事業について

**質問** 地域イントラネット整備事業は旧離島、与勝半島にとつて大変、重要な意味をもっており、二年後に沖縄県で開催される全国高校総体までには完了させて頂きたいと日々質問してきた。この事業の基本設計はどうなっているのか何う。

**答弁** 企画部長 光ファイバー経路設計及びネットワーク構成の設計はほぼ完了している。

**質問** 地域に対しての還元は。

**答弁** 企画部長 例えば民間の事業者が芯(光ファイバー)を借りてインターネット等のサービスを市全域で行う事もできます。

二 台風四号の被害、その後の対応について

**質問** 浜区の排水口延長工事の進捗はどうなっているか。

**答弁** 建設部長 予算的に大変厳しいものがあり、当面、建設機械によって除去作業を行い排水機能に支障がないように対応していきたい。

**質問** 津堅区公民館に隣接する護岸の復旧について何う。

**答弁** 経済部長 平成二十一年度は実施設計と南防波堤のかさ上げ工事をやり二十二年度は公民館への被害を防ぐため南護岸の新設改良と東護

岸の撤去、新設工事を計画している。

**質問** トマイ浜の侵食については波を破碎するような工法が出来ないか。

**答弁** 経済部長 海岸保全事業の制約があり今回は対策事業の対象にならない。

三 コミュニティバスの運行状況について

**質問** 平敷屋漁港近隣にバス路線の確保が出来ないか又津堅島定期航路の発着に応じてコミュニティバスの運行は可能か何う。

**答弁** 市民部長 バス路線については要請していきたい。又、コミュニティバスについては現在の経路の見直しが必要のため検討していく。

四 期日前投票の意味について

**質問** 期日前投票の根本的な意味は投票日、当日何らかの事情で投票に出来ない選挙人に投票して頂き、投票率のアップと選挙に対する啓蒙を促す重要な役割があると思っている。定員適正化計画を理由にするのは納得出来ない。期日前投票を本庁一ヶ所で行った事は市民の期待を裏切ったことになる。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長 四庁舎での期日前投票については委員会へ持ち帰って報告したい。



一 サマージャンボ宝くじ収益金活用に  
 二 自動販売機について  
 三 ジェネリック医薬品について  
 四 うるま市建設工事請負約款について  
 五 中小企業振興基本条例について

仲本辰雄 なかもと たろう

一 サマージャンボ宝くじ収益金活用に  
用について

**質問** 理事会でどのように決定したのか。

**答弁** 企画部長 平成二十年度から各市町村へ配分される。

**質問** うるま市に配分される金額は。

**答弁** 企画部長 約一千万円程度だと考えている。

二 自動販売機について

**質問** ①電気料金の節減の取り組み

**答弁** 設置業者からの収入について

**質問** ②設置業者からの収入について

**答弁** 総務部長 ①休日及び勤務時間外に照明の消灯を実施している。

**質問** ②九百七十七万円余り。

**答弁** 大阪府は公募方式を実施したところ、昨年度と比較すると二億九千四百万円の増収になったと報道されている。この事例をどのように考えるか。

**答弁** 総務部長 多額の歳入増が見込まれることについては、自主財源の確保を図ることからして、もっと課題研究していく必要がある。

三 ジェネリック医薬品について

**質問** 患者の自己負担の軽減、国保財政の赤字削減にもつながるジェネリック医薬品の使用促進を図る考えはないか。中市町村会として取り組む必要があると思うが。

**答弁** 市民部長 ジェネリック医薬品を患者が選ぶと医療費、自己負担ともに四十%近く下がる。中部地区の国保協議会に議題として取り上げ

ていきたい。

**答弁** 市長 共通の理解と、認識が得られるよう問題提起をしながら、懸命に取り組みたい。

四 うるま市建設工事請負約款について

**質問** 第二十五条の解釈を何う。

**答弁** 都市計画部長 同条第五項は、特別な要因により工期内に主要な工事材料の日本国内における価格に著しい変動を生じ、請負代金額が不当となつたときは変更を請求することができると、単品スライド条項が規定されている。

**質問** 事例が発生した場合は対応するか。

**答弁** 都市計画部長 国土交通省より、最近の特定資材の高騰を踏まえ、請負代金の見直しを行うことができよう発動したとの情報があるが、県からの通知はないので、通知文書が届き次第、内容等を確認の上、国・県指導のもと適正に対応していきたい。

五 中小企業振興基本条例について

**質問** その後どのように検討してきたか。

**答弁** 経済部長 県の振興施策等の策定状況や意見交換会等を参考に、制定に向けて前向きに進めていきたいが、厳しい財政状況下、既存事業との兼ね合いや上位計画との整合性を勘案しながら検討を重ねていきたい。

一般質問



- 一行財政について
- 二 福祉行政について
- 三 住民健診について
- 四 教育行政について

比嘉敦子

一行財政について

**質問** 運営費補助金について①各種団体数と補助金額の合計額②補助金について交付規程に基づかないで支出している団体はあるのか③補助金審査委員会からの指摘事項等もあるのか④補助金は、担当部で確認をして出されているか伺う。

**答弁** 企画部長 ①七十件で五億七十六万五千円。②うるま市補助金等交付規則・各種補助金交付要綱等の規程に基づいて支出されている。

**答弁** 総務部長 ③補助金交付に対して、その効果が検証されていない。又長期に補助を行っている場合、補助を行う目的。最終的にどのような状態をめざしているのか不明瞭との指摘がある。

**答弁** 企画部長 ④交付規則・交付要綱等に基づき適正に交付されている。

二 福祉行政について

**質問** DV防止対策について①昨年度の相談件数と一時保護の件数と年代②DV被害者支援体制について③「イ」数日間安心して休める場所はあるか④「ロ」住居の確保について⑤「ハ」生活

資金の貸付等はあるか。一時保護の施設として機動隊の宿舎が利用できないか県と調整してもらいたい。

**答弁** 福祉部長 ①百十一件で一時

保護は二件。三十代と六十代の女性。

②「イ」ない「ロ」入居募集時にくじを二回引いてもらう「ハ」貸付等はない。機動隊宿舎は要望していきたい。

三 住民健診について

**質問** 住民健診について①医療費が高くなる病気は。②歯周病検査の復活について③未受診者対策について。

**答弁** 市民部長 ①一ヶ月の医療費が二百万円以上を高額と位置づけると狭心症や心筋梗塞、脳血管、大動脈疾患の順である②検討していきたい③各関係機関を網羅して啓発活動に強力に取り組む。

四 教育行政について

**質問** 学校給食について①学校で使われている食器の材質について②食べ残しは何%か③牛乳パックについて④地産地消について。

**答弁** 指導部長 ①健康面に影響がない、安全な食器を導入している②約十%未満の残渣がある③ごみとして回収し、焼却している④個人農家、生産者グループが直接給食センターに食材を提供している。

**質問** 与勝地域の体育館改築事業について伺う。

**答弁** 教育部長 計画されていない学校は伊計小中学校、平安座中学校、比嘉小学校、桃原小学校、宮城中学校、浜中学校です。



- 一行福祉行政について
- 二 男女共同参画について
- 三 商工行政について
- 四 教育行政について
- 五 国保行政について
- 六 市営住宅について

伊盛サチ子

一行福祉行政について

**質問** 後期高齢者医療制度廃止を求めていくことについて。

**答弁** 市長 さまざまな問題点が指摘され、制度の不安を国民に増幅させる結果となっている。九州八県の広域連合長会議の中で問題点を取りまとめ、要請している。その改善策等を求めている途中で、その結果を待つて今後の対応をする。

**質問** 保険料の負担軽減策について。

**答弁** 市民部長 平成二十年度について、収入百五十三万円から二百二十万円程度の方々は、原則一律、五十%の軽減とすることになる。

二 男女共同参画について

**質問** 管理職・審議会等への女性の登用促進・条例制定について。

**答弁** 企画部長 管理職の登用率について、十一市を比較すると五・三%で六番目、意識改革も必要と受けとめている。審議会等委員への人材リストを活用し、今後検討していく。条例は、行革との関係も含め、総合的に検討していかないといけない。

三 商工行政について

**質問** 小規模工事等契約希望者登録

制度の現状と、契約金額の改善について。

**答弁** 都市計画部長 登録総数二十社。活用実績は、平成十九年度、百十八件、四百八十五万三千円、工事限度額は、五十万円から百三十万円に引き上げた。

四 教育行政について

**質問** 三十人学級該当校と拡大の取り組みについて。

**答弁** 指導部長 二校が認められた。全学年に広げていきたいという県の要望もあり、各学校の空き教室の整備状況を早目に確認し、対応できる状況をつくっていきたい。

五 国保行政について

**質問** ①国民年金保険料未納者への国保短期保険証交付について。②六十五歳から七十四歳（前期高齢者）国保税の年金天引きについて。

**答弁** 市民部長 ①賛成できるものではないと思っている。②取り組まなければならないこと。

六 市営住宅について

**質問** 空き部屋の実態について。  
**答弁** 建設部長 空き待ち募集を行っており、解消できると思う。



一 道路行政について  
二 高江洲地区集落整備事業について

喜屋武 正伸

一 道路行政について

**質問** 県道三十六号バイパス高架下を有効利用してテニスコートや公園などの設置が可能か問う。

**答弁** 建設部長 関係自治会などの要望も受け県とも調整し、市の関係部署との合意が得られれば可能と思う。

**質問** 県道十六号線の歩道整備の進捗状況を問う。

**答弁** 建設部長 県としては「工事への具体的な合意が得られれば次年度に事業化に向け検討していきたい」との回答です。

**質問** 市道一〇号線（前原地内）の整備について問う。

**答弁** 建設部長 路面水については片側に大きな排水がついているので、状況を見ながら処理を検討し、現場で対応したい。

二 高江洲地区集落整備事業について

**質問** 集落地区内道路（農道）に水たまりが多いが整備の計画を問う。

**答弁** 経済部長 自治会からの要望もあり、早期整備へ向け、すでに業者からの見積もりも徴しており早期の整備を図っていききたい。



◀ 県道三十六号バイパス高架橋

**質問** 高江洲小学校運動場に接した農道のアスファルト補装の計画を問う。

**答弁** 経済部長 整備の要望ができていますので緊急性を再度内部で調整し、危険度が高いというのであれば早急に着手していききたい。



一 証明書自動交付機の利用状況について  
二 人材育成と生涯学習の振興について

永玉栄 靖

一 証明書自動交付機の利用状況について

**質問** 証明書自動交付機の利用状況について。

**答弁** 市民部長 指摘を受け、うるま市印鑑改正条例を三月に提案、可決をし、現在運営している。

**質問** 議決したうるま市印鑑条例に関する規則改正は、どうなっているのか。改正しているのであれば、交付年月日、交付番号を伺う。

また、条例第十三条の二、規則で定める事項、十三条の三の規則で定める事項を定めなければならぬとあるが、ちゃんとされているか。印鑑条例は、三月二十七日に議決をして、二十八日に告示、公布をしてあるが、公布をして始めて条例の効力がある。条例を制定した後、規則も公布すべきであると思うが。

**答弁** 市民部長 一月三十日規則第四号と三月に条例改正した条例の遡及を適用することにより、その整合性を図られることで規則改正は行っていない。

二 人材育成と生涯学習の振興について

**質問** うるま市空き公共施設を学

校の移動教室に利用させたり、与那城区公民館にある学習室は年間三千八百二十五名の利用者があり、すぐ隣には利用してない書庫がある。学習室として広げ利用させられないか。図書館のない地区の読書意識の推進についても子供たちの学習環境を整えるために行政が支援していくべきと思うが。歴史民俗資料館運営状況は、第五条に資料館には館長、学芸員、その他職員を置くことあり、石川の資料館では条例に基づいて管理運営されているが与那城ではそれが出来ないのか。

**答弁** 教育部長 学習室については利用者が増えているので財政当局と調整しながら考えていきたい。資料館については、本来の形で運営にあたって行きたい。

**答弁** 教育長 子供たちの学力と読書量は関係があり、市民図書館は人員的財政面からも厳しいが具体的に検討したい。

**答弁** 市長 子供たちの教育、読書、民俗資料館についても教育委員会、所管する部局とも調整しながら、行政として可能な限り対応していききたい。



中村 正人

一 保育環境について  
二 教育予算について  
三 経済環境について

一 保育環境について

**質問** 法人保育園予算の一般財源化について伺う。

**答弁** 福祉部長 国においては一般財源化の議論がなされている。更に次世代を担う子供達の保育環境も今後は充実させ、対応が必要と考える。

**質問** 沖縄県は全国に比べて保育予算が低く、今後何らかの行動を起こすべきと思うが。

**答弁** 福祉部長 保育環境を後退させてはならないと強く意にとめています。

**質問** 保育園の適正配置について伺う。

**答弁** 福祉部長 次世代育成支援行動計画の中で検討します。

**質問** 待機児童の緩和策について伺う。

**答弁** 福祉部長 現在の待機児童は百四十人であり、対応策は入所の弾力化や一時保育・特定保育事業の活用等に対応している。

二 教育予算について

**質問** 光熱水費の節減効果に対する子供たちへの還元策について伺う。

**答弁** 指導部長 還元策については学校図書費や消耗品に還元して

います。図書費（小学校 四百五十万円）（中学校 三百万円）消耗品（小学校 三百五十万円）（中学校 二百四万円）

三 経済環境について

**質問** 就業対策について

**答弁** 経済部長 うるま市は完全失業率が十四・六％であり、非常に厳しい状況です。平成十八年度から地域提案型雇用創造促進事業を始め、人材育成のための講座や企業とマッチング事業を実施し、雇用創設を目標に事業を行っている。

**質問** 企業誘致対策について伺う。

**答弁** 経済部長 企業誘致セミナーや県知事とともに現地視察ツアーや立地促進に頑張っているところです。

**質問** 公共事業について、合併十年間の中で三百六十億円の特別債を活用して建設業、管工事業、電気コンサル業をどの様に育成しているのか伺う。

**答弁** 都市計画部長 基本的には市内本社で出来るものは市内本社でやっていたらどうかというところで、後とも市内本社の市内優先、市内本社の企業育成については、市としても頑張っていきます。



名嘉真宜徳

一 市道整備（昆布地内十班）について  
二 昆布―安慶名のバス運行について  
三 全国高等学校総合体育大会について  
四 公園の維持管理の委託について

一 市道整備（昆布地内十班）について

**質問** 昆布地内（十班）の市道には側溝がなく周辺の生活排水の処理に苦慮をしております。整備計画を伺う。

**答弁** 建設部長 予算的に厳しい状況です。側溝等の整備は、維持管理の面で可能か検討したい。

**質問** 昆布区は周囲を基地に囲まれているがこれまでほとんど基地周辺整備資金の恩恵を受けてません。道路網の整備実現に向けて、市長の政治的判断をお願いしたい。

**答弁** 市長 現在の予算の枠内で可能な限り検討したい。これから着実に周辺のインフラ整備等も展開され、今後も継続して取り組んでいく。

二 昆布―安慶名のバス運行について

**質問** 行政当局として何らかの手を打たなければならぬ。路線バス会社へ要請はしたか、有償バス運行はできないか伺う。

**答弁** 市民部長 要請は行っていない。有償バスについては、うるま市が道路運送法に基づく許可を得て、市直営にするか、委託にするか検討する必要があるが現時点では難しい。

三 全国高等学校総合体育大会について

**質問** 受入れ体制・支援体制はどうなっているか伺う。

**答弁** 教育部長 今年の十月にうるま市実行委員会を設立し、今年度の開催地の視察を行う。また、市内の各団体や自治会、地域ボランティア等と連携を図りたい。

四 公園の維持管理の委託について

**質問** 公園の管理委託状況を伺う。

**答弁** 都市計画部長 管理委託している公園は四十九カ所あり、シルバー人材センター四十六カ所、知的障害者授産施設が三カ所、いずれも随意契約である。管理費の総額は約三千五百万円である。

**質問** 授産施設の健全な運営を助成する支援策として、優先的に委託できないか伺う。

**答弁** 都市計画部長 授産施設がどれぐらいの対応ができるか、公園の作業内容の問題もありますので、関係部署も含めて、授産施設から要望があれば協議検討していきたい。



一 基地の危険（リスク等）に伴う国の財政対応について  
 二 農業振興について  
 三 産業振興について  
 四 リゾート地域の形成について

照屋 正義正

一 基地の危険（リスク等）に伴う国の財政対応について

**質問** 三月議会では辺野古ヘリポート建設に伴う北部振興策等地域指定を国へ要請して財源の確保を図ることを質問した。関連してホワイトビーチへの原潜寄港及び天願棧橋についても同様の要請を提案したい。

**答弁** 市長 私見ではあるが、ホワイトビーチ、天願棧橋、昆布貯油タンク等は最後に残る米軍施設になると思う。北部の施設からの騒音被害等についても沖縄防衛局長にもその旨、申し入れている。また中部地区における基地に伴う対応、手当については、北部振興策同様、できるなら中部市町村会、基地所在市町村とスクラムを組み、問題提起をしながら、折衝していきたい。

二 農業振興について

**質問** 膨大な遊休地の解消について。

**答弁** 経済部長 耕地面積一千六十八haのうち約三割の三百六十四haが遊休地です。遊休農地解消総合対策事業等に関係機関等と連携し、努めていきたい。

**質問** サトウキビの増産について ①ハーベスターの台数②ハーベスター収穫後の株揃え、中耕の早期対応について③製糖期の十二月開始について④増産助成制度について

**答弁** 経済部長 ①具志川三台、石川一台、勝連二台、与那城地区二台②トラ

三 産業振興について

**質問** 中城湾新港内にイベント広場、約十四・四haを整備することにより、約一万台の駐車場も確保できる。県産業まつり、種々の見本市等開催することにより新港内企業立地の促進も図れる。県の単価は1㎡当り約一万三千円で総額約二十億円、補助事業を活用することで補助金十億円、合併特例債約七億円で市負担約三億円で整備可能と予測される。その対応を提案したい。

**答弁** 企画部長 イベント広場の整備はイベントの誘致、多目的な活用等で地域の活性化に大きく寄与するものであるが、工業用地の指定がある。一時的なイベント広場等（再提案）については、県とも調整をして活用を図っていきたい。

**質問** 海中道路周辺及び島嶼郡は全国的に屈指のリゾート地があると云われておりその整備について。

**答弁** 市長 リゾートの形成に伴う経済の活性化等提案の趣旨を踏まえ、地域の特性又は制度等を活用しながら着実に進めたい。

四 リゾート地域の形成について

**質問** 海中道路周辺及び島嶼郡は全国的に屈指のリゾート地があると云われておりその整備について。

**答弁** 市長 リゾートの形成に伴う経済の活性化等提案の趣旨を踏まえ、地域の特性又は制度等を活用しながら着実に進めたい。



一 環境行政について  
 二 文化財について

伊波 良紀

一 環境行政について

**質問** 住民から公園内や公園の周辺、あるいはウォーキング中に野犬を見かけるとの情報がある。又、農家からは野犬による家畜被害があつたとの報告もある。そして、地域住民からは飼い犬による近隣住民とのトラブルもあると聞く。人的被害、家畜被害、また飼い犬等のトラブル、その被害件数について伺う。

**答弁** 市民部長 平成十八年から二十年六月現在までの集計で、人身の咬傷事故十七件、家畜被害六百三十七件、飼い犬のトラブル、なき声の苦情等で百七十六件あります。

**質問** 家畜被害の種類、頭数等は、野犬の捕獲数の他市との比較は、また飼い犬によるトラブルの内容について伺う。

**答弁** 市民部長 家畜被害は、子豚が三百九十四頭、鶏が二百八羽、ヤギ・七面鳥等で計六百三十七件。野犬の捕獲頭数は、うるま市が一番多く七百七十一頭、那覇市で四百十六頭、三位は沖縄市で三百八

十一頭です。飼い犬のトラブルの内容は、「むだ吠え」「泣き声」に対する苦情です。

**質問** 野犬や飼い犬による被害の対処、今後の対策について伺う。

**答弁** 市民部長 野犬の捕獲や家畜農家への自衛手段の指導等、また飼い犬については、飼い主に苦情の実情を伝え指導している。

二 文化財について

**質問** うるま市石川嘉手苅地区内にある市指定の有形文化財建造物、嘉手苅観音堂の修復について、昨年七月の台風四号で敷地内のフクギの大木が倒れ、屋根の瓦等が一部破損している。対応について伺う。

**答弁** 教育部長 予算を伴うが、修復に向けて検討していく。

**質問** 今後は、台風等で建造物の被害が起きないように、樹木の剪定、堂内の整備を望む。

**答弁** 教育部長 現状を確認しながら倒壊等については、自治会等とも相談し検討する。また環境整備に取り組んでいきます。





一 平成十八年高江洲中学校での授業中の事故について  
二 道路行政について

徳田 政信

**一 平成十八年高江洲中学校での授業中の事故について**

**質問** 事故当時の状況等、そして本人はじめ、家族に対する当局の対応について伺う。

**答弁 指導部長** 事故は平成十八年一月十八日、二時間目の体育の時間に発生しています。けい髄損傷との診断です。学校と連携し、当人や家族への見舞い、進路指導等の支援を行ってきた。

**質問** ①パートナーを組んで補助員を配置していたか。②経済的支援をしていくのが行政の今回の事故に対する務めではないか。

**答弁 指導部長** ①学校としては子供たちの命と可能性を預からせていると考えている。②事故に関しては時間が戻せるなら戻したいという気持ちです。③事故の責任を認めるかとの質問ですが、今、裁判中であり答弁は控えたい。

**二 道路行政について**

**質問** 県道三十六号線バイパス高架橋下の空間有効活用については、地域から駐車場及び公園や中学校のテニスコートに活用させてほしいとの要望等があり、市として強

く中部土木事務所に要請をしてほしい。

**答弁 建設部長** 高架橋下の有効活用については現在各関係自治会あてに空間利用に対する要望、意見等の聴取を行っているところで

**質問** 昆布栄野比線について、現在の進捗状況、今後の計画等について伺う。

**答弁 建設部長** 延長一千五十m、総事業費約八億四千三百万円になる予定。これまで二年延びてきており、市長からも強く言われている。職員もそのつもりで防衛局と調整中である。市長も防衛局まで出向き、平成二十一年度採択に向けて、強い姿勢で今後、臨んでいきたい。



**一 県議選挙について**

**質問** 本市における県議選の期日前投票会場を本庁のみで実施した経緯と理由。投票率アップの取り組みについて伺う。

**答弁 選挙管理委員会事務局長** 期日前投票会場については、定員適正化により職員の減員があり、期日前投票の合理化を余儀なくされた。また、不適切な執行が選挙訴訟の原因にもなりかねない理由等で本庁のみとなった。投票率のアップ、住民サービスの公平性による従来四会場での実施については委員会に報告している。投票率のアップの取り組みについては、選挙のできる範囲には限界がある。未来の有権者である小中学生へ選挙の大切さを知ってもらう為、選挙ポスターの募集業務を行っている。

**二 教育行政について**

**質問** 交付税として財政措置された図書購入費、教材費の予算化率は。与那城地区の図書館、図書室のない現状をどう認識し、今後具体策をどう講じるのか。

**答弁 指導部長** 図書の予算化率は百二十二%、小学校が百三十六%、中学校が八十六%、教材費の予算化率、全体で四十八%、小学校で四十二%、中学校で五十九%です。

一 県議選挙について  
二 教育行政について  
三 与那城東照間地内工場について  
四 環境モデル都市・環境行政について

安慶名 正信

**答弁 教育部長** 与那城地区公民館の二階図書室は合併前から貸し出し業務がほとんどされてない、又、新たな図書館建設は、大変厳しい。

**三 与那城東照間地内工場について**  
**質問** 与那城東照間地内工場が閉鎖されているが、現状並びに今後の対策。諸条件に合った企業誘致の見通しは。

**答弁 経済部長** たばこ税収が大幅に減収となり、大変厳しい状況と認識している。企業誘致の具体的な話はない。

**四 環境モデル都市・環境行政について**

**質問** (一)「環境モデル都市構想」の骨子の説明、環境モデル都市への応募の姿勢と今後の環境行政について、(二)全国十カ所となると難関だが、今後の取り組みの体制について、(三)地球温暖化対策は喫緊の課題として本市でも推進しなければならない。環境政策を推進する部署の位置づけは必要だが所見を伺う。

**答弁 企画部長** (一)は、温室効果ガスの大幅な削減等、低炭素社会を目指す。(二)は、環境に関連する環境課、商工課、畜産課、まちづくり課が中心となる。(三)は、環境モデル都市公募提案に包含され、かかわった四課で検討。



一 住民サービスの充実強化について  
 二 浜比嘉(浜区)の公衆トイレについて  
 三 乳幼児医療費の自動償還払いの導入について

しもじま しみず てるまさ  
 下門 勝

一 住民サービスの充実強化について

**質問** みどり推進課の所管している公園等の広場などの借用申請等を社会体育課に一元化できないか。

**答弁** 教育部長 施設使用の申請等で市民に不便を与えており、一元化に向けて検討していきたい。

**質問** 児童手当受給者現況届について、今回、指定日で混雑した地域はありましたか。

**答弁** 福祉部長 勝連地区で相当混雑したと聞いています。

**質問** 勝連、与那城地区では一日間の日程しか組まれてない。具志川、石川地区では二日間組まれており、具志川地区に関しては指定日、予備日を合計すると七日間ある。対象者の割合等を考慮した日程であることは理解するが、勝連、与那城地区の対象者の中にも小さな子供を抱っこしながら申請にくる方々や、共働きの方は休暇の調整など苦労している。勝連、与那城地区でも、最低二日間の日程を組み、ゆとりを持って手続きが行えるよう配慮し、負担の軽減がなされるべきだと考えるが。

**答弁** 福祉部長 今回の問題点を踏まえて、充実した体制が組めるようにしていきたい。

二 浜比嘉(浜区)の公衆トイレについて



一 うるま市バイオマスタウン構想について  
 二 自治会行政について  
 三 福祉行政について  
 四 ハンセン病について

みやざき まさひろ  
 宮里朝盛

一 うるま市バイオマスタウン構想について

**質問** うるま市バイオマス構想の事業内容について。

**答弁** 経済部長 (1)複合メタン処理と悪臭防止対策事業(2)廃食用油利活用とひまわりプロジェクト事業(3)木質系、未利用系資源の混合燃料化事業(4)食品残渣の飼料化とブランド家畜の育成事業(5)既存堆肥舎の有効活用と官民連携(6)さとうきび資源からのバイオエタノール生産事業を計画。(2)、(3)は事業展開中である。(2)の事業を実施する中で、福祉団体や婦人会等との調整を図っていきたい。

二 自治会行政について

**質問** 石川山域地区学習等共用施設建設事業、宮里コミュニティセンター建設事業、桃原コミュニティ防災センター建設事業について。

**答弁** 市民部長 山域地区学習等共用施設は防衛局施設周辺整備助成事業の補助金活用、総事業費一億六千四百七千円、平成二十一年度完成予定。宮里コミュニティセンターは「自治宝くじ助成金」総事業費八千二百一十七万八千円。

**答弁** 総務部長 桃原コミュニティ防災センターは石油貯蔵施設立地対策等事業交付金一億五千二百三十二万八千円を活用し防災活動及び地域コミュニティ活動施設の整備を行う。

三 福祉行政について

補助対象地域は平安座地域と桃原地域。

**質問** うるま市障害者福祉計画の基本理念、基本目標について。

**答弁** 福祉部長 障害者が普通に暮らしていける、社会参加もできるようにしていこうと「自立と支え合い」ともに歩む「うるま」その基本理念を実現していくため三つの基本目標(1)障害者の自立と社会参加を支援する環境づくり、(2)だれもが暮らしやすい環境づくり、(3)地域とともに歩むための環境づくり等の事業を整備することを目標としている。

四 ハンセン病について

**質問** ハンセン病について。

**答弁** 市民部長 「ハンセン病問題基本法」二〇〇八年六月成立、この法律は法制定を求め三百九十二万人を超す署名が大きな力となり成立したとも考えられる。法成立により療養所の医療と福祉の維持を国に義務づけ、地域への開放も可能になる。国は「ライ予防に関する件」という法律を制定し、患者を強制的に療養所へ隔離し、「ライ予防法」を廃止するまでの九十年間、重大な過ちを犯し、その結果、偏見や差別による人権侵害を引き起こすことになった。今後行政全体としてハンセン病に対する正しい知識と理解を求めて、その啓発普及に努めていきたい。



一 平和学習の推進について  
二 福祉教育の充実強化について  
三 自主防災組織の確立について

ひがしはらみつお  
東浜光雄

一 平和学習の推進について

**質問** 戦後六十三年が経過し、戦後世代の人口が多くなった現在、平和に対する思いが薄れ、悲惨な戦争体験が風化されようとしている。二度と悲惨な戦争を起こしてはならないことと、平和に対する思いを強くしていくために平和学習の推進が必要だと思うが。

**答弁** 指導部長 市の主要施策で、平和教育の充実を掲げ、本年度の重点を「生命を尊重し、世界の平和を希求する心の育成」を図ることを目標として推進している。

**質問** 平和に対する「思い」、「心」は全国で共有すべきだと思う。原爆が投下された広島、長崎へ平和大使の派遣を行い、連携して平和学習の推進をしていく考えはないか。

**答弁** 指導部長 現在平和大使を派遣する考えはないが、修学旅行等で見学するだけでなく、現地の子どもたちと平和学習の交流ができないか提案していきたい。

二 福祉教育の充実強化について

**質問** 地域社会の中で、安心して豊かに暮らしていくには、沖縄本来の「ゆいまーる」の心を育て、

お互いが支え合っていく風土をつくっていくことが大切だと思う。そのためには、福祉教育の充実強化が重要不可欠だと思うが。

**答弁** 指導部長 地域と一体となった福祉の心を育てることは、非常に大切だと思う。少子高齢化は避けて通れない問題であり、今後、学校側と意見を交わし、体制づくりができないか提案していく。

三 自主防災組織の確立について

**質問** 災害からいち早く住民の避難誘導、救助、救援を行っていくには、自主防災組織の確立が重要不可欠だと思う。又、住民の防災意識の高揚にもつながってけると思うが。

**答弁** 総務部長 突発的に発生する災害等から被害の軽減を図るには、迅速かつ的確な避難、支援体制の構築が重要と考える。今後の取り組みとして、防災訓練の実施や石油コンビナート等、県、市と連携をして実施するなどの実績のある平安座区をモデルケースとして、他自治会への啓発活動を行い、自主防災組織化率の向上につなげていく。



一 うるま市職員の健康管理について  
二 大学院大学周辺整備事業について  
三 観光振興について

みやきしげる  
宮城 茂

一 うるま市職員の健康管理について

**質問** うつ病を含む心の健康問題対策について本市はどのような位置付け、どう対応しているか伺う。

**答弁** 総務部長 本市においては、毎月第一週の水曜日にうるま市産業医による相談日を設け、心の健康に問題のある職員の発見及び専門医への受診指導を行ってきている。またうつ病においては、管理職や同僚のうつ病に対する理解や適切な対応が必要であると考え、その研修を予定しているところだ。

二 大学院大学周辺整備事業について

**質問** 同事業の基本計画の中で本市は重点整備地区に指定されているが、それに対する本市の取り組み等について伺う。

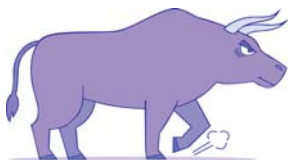
**答弁** 企画部長 交通センター地区については、新市建設計画に掲げられている石川インター周辺整備構想と連携するのでそれらの事業の進捗を見ながら、また大学院大学の開学の時期を踏まえて事業

実施の検討をしていきたい。

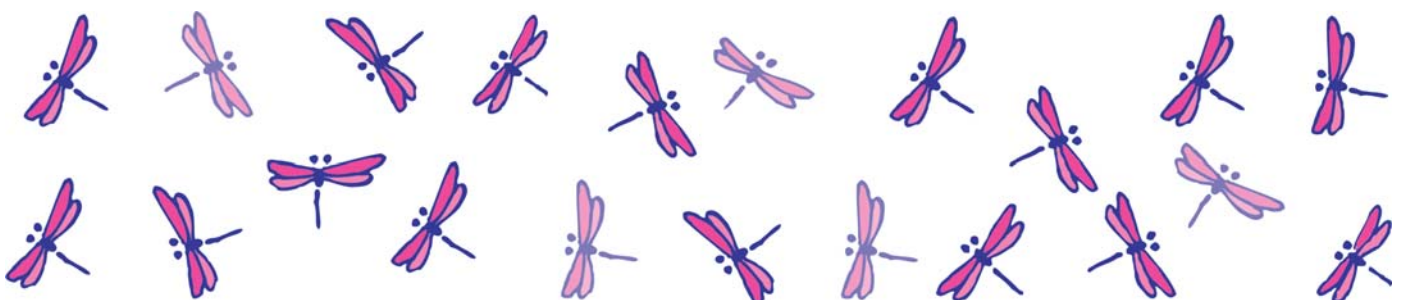
三 観光振興について

**質問** 沖縄総合事務局が実施している「観光まちづくりコンサルティング事業」において、重点支援地域として本市が選定されているが、どのような取り組みを計画しているのか伺う。

**答弁** 経済部長 具体的には観光三大イベントということで、観光闘牛、観光エイサー、観光阿麻和利を定期的に開催していきたい。さらにうるま市観光手形というものも発行し、来年の四月実施を目標に準備を進めている所です。また、県外の「中、高校生」の修学旅行のコースに今回この商品化しようとする三大イベントを含めた形で盛り込んで誘客していきたいと考えている。



平成20年6月 第35回うるま市議会定例会議決結果		
議案番号	案 件 名	議決結果
報告第 5 号	平成19年度うるま市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告
報告第 6 号	平成19年度うるま市一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について	報 告
報告第 7 号	平成19年度うるま市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報 告
報告第 8 号	平成19年度うるま市公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告
報告第 9 号	平成19年度うるま市土地開発公社事業報告及び決算報告について	報 告
報告第10号	平成20年度うるま市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画の報告について	報 告
承認第 4 号	専決処分の承認について「平成20年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」	承 認
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について	適 任
議案第52号	あらたに生じた土地の確認について	原案可決
議案第53号	字の区域の変更について	原案可決
議案第54号	公有水面埋立に対する意見について	原案可決
議案第55号	平成20年度うるま市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第56号	平成20年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第57号	平成20年度うるま市老人保健特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第58号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第59号	うるま市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第60号	うるま市健康福祉センター条例	原案可決
議案第61号	うるま市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第62号	うるま市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第63号	うるま市監査委員条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第64号	中城湾港新港地区内における埋立地の用途変更に対する意見書について（その1）	原案可決
議案第65号	中城湾港新港地区内における埋立地の用途変更に対する意見書について（その2）	原案可決
議案第66号	中城湾港新港地区内における埋立地の用途変更に対する意見書について（その3）	原案可決
議案第67号	うるま市健康福祉センター駐車棟建設工事（建築）請負契約について	原案可決
議案第68号	監査委員の選任について	同意（奥田修）
選挙第 2 号	中部衛生組合議会議員の選挙（指名推薦）	当選人（久高唯昭）



平成20年7月 第36回うるま市議会（臨時会）議決結果

議案番号	案 件 名	議決結果
報告第11号	専決処分の報告について（車両物損事故）	報 告
報告第12号	専決処分の報告について「うるま市総合福祉センター及び安慶名地区改良住宅D棟建設工事（機械）の変更契約」	報 告
議案第69号	うるま市総合福祉センター及び安慶名地区改良住宅D棟建設工事(建築)請負契約についての議決内容の一部変更について	原案可決
議案第70号	うるま市総合福祉センター及び安慶名地区改良住宅D棟建設工事(電気)請負契約についての議決内容の一部変更について	原案可決
発議第26号	「議案第69号うるま市総合福祉センター及び安慶名地区改良住宅D棟建設工事(建築)請負契約についての議決内容の一部変更について」及び「議案第70号うるま市総合福祉センター及び安慶名地区改良住宅D棟建設工事(電気)請負契約についての議決内容の一部変更について」に対する付帯決議	原案可決
議案第71号	うるま市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決

平成20年7月 第37回うるま市議会（臨時会）議決結果

議案番号	案 件 名	議決結果
発議第27号	米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する意見書	原案可決
発議第28号	米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する抗議決議	原案可決

平成20年8月 第38回うるま市議会（臨時会）議決結果

議案番号	案 件 名	議決結果
発議第29号	米国原子力潜水艦の冷却水漏れ事故に対する意見書	原案可決
発議第30号	米国原子力潜水艦の冷却水漏れ事故に対する抗議決議	原案可決

平成20年8月 第39回うるま市議会（臨時会）議決結果

議案番号	案 件 名	議決結果
議案第72号	平成20年度うるま市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第73号	うるま市地域イントラネット基盤施設整備事業光ファイバー敷設等工事請負契約について	原案可決
議案第74号	備品の取得について	原案可決
議案第75号	津堅小中学校校舎改築工事（建築B棟）請負契約について	原案可決
議案第76号	中原小学校校舎増築工事（建築C棟）請負契約について	原案可決
議案第77号	中原小学校屋内運動場及び水泳プール増改築工事（建築）請負契約について	原案可決
発議第31号	米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する意見書	原案可決
発議第32号	米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する抗議決議	原案可決

第40回うるま市議会（9月定例会）付議事件名（予定）		
議案番号	案 件 名	主管部
認定第 1 号	平成19年度うるま市水道事業会計決算認定について	水 道 局
報告第 1 3 号	専決処分の報告について（IT事業支援センター建設第3期工事（建築）の建設工事変更請負契約）	建 設 部
報告第 1 4 号	専決処分の報告について（中原小学校校舎増改築併行防音工事（建築A棟）変更請負契約）	教育委員会 教 育 部
報告第 1 5 号	専決処分の報告について（中原小学校校舎増改築併行防音工事（建築B棟）変更請負契約）	//
報告第 1 6 号	専決処分の報告について	建 設 部
議案第 7 8 号	平成20年度うるま市一般会計補正予算（第2号）	企 画 部
議案第 7 9 号	平成20年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	市 民 部
議案第 8 0 号	平成20年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	//
議案第 8 1 号	平成20年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第1号）	福 祉 部
議案第 8 2 号	平成20年度うるま市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	経 済 部
議案第 8 3 号	訴えの提起について	建 設 部
議案第 8 4 号	津堅辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について	企 画 部
議案第 8 5 号	うるま市津堅島介護保険地域密着型サービス施設条例	福 祉 部
議案第 8 6 号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例	総 務 部 経 済 部
議案第 8 7 号	うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	総 務 部 福 祉 部
議案第 8 8 号	うるま市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	総 務 部
議案第 8 9 号	うるま市立小・中学校用地取得基金条例の一部を改正する条例	教育委員会 教 育 部

## 「ひまわり収穫祭 in 津堅島」開会式及び収穫中の風景



# うるま市議会組織構成図

平成20年7月1日

議長 島袋 俊夫  
副議長 西野 一男

任期 { 自 平成18年10月20日  
至 平成22年10月19日

議会運営委員会 (12人)	常任委員会						特別委員会
	企画総務(7人)	建設(8人)	教育福祉(7人)	市民経済(8人)	基地対策(12人)	議会広報調査(10人)	
◎徳田 政信 ○金城 勝正	◎下門 勝 ○照屋 義正	◎名護 盛治 ○大屋 政善	◎島袋 行正 ○喜屋武 正伸	◎中村 正人 ○安慶名 正信	◎東浜 光雄 ○松田 久男	◎川上 秀友 ○名嘉真 宜徳	◎照屋 義正 ○松田 久男
伊盛 サチ子 久高 唯昭	川野 進也 田中 直次	安里 純哲 川上 秀友	奥田 修 金城 勝正	伊盛 サチ子 永玉栄 靖	喜屋武 正伸 島袋 行正	伊盛 サチ子 川野 進也	伊盛 サチ子 奥田 修
島袋 行正 下門 勝	仲本 辰雄 東浜 光雄	久高 唯昭 高江洲 賢治	比嘉 敦子 徳田 政信	西野 一男 宮里 朝盛	下門 勝 田中 直次	喜屋武 正伸 高江洲 賢治	比嘉 敦子 東浜 光雄
中村 正人 仲本 辰雄	宮城 茂	文吉 暎 松田 久男	徳田 政信	宮里 朝盛 山城 榮信	中村 正人	中村 正人	文吉 暎 久高 唯昭
名護 盛治 東浜 光雄					比嘉 敦子 宮里 朝盛	名護 盛治 西野 一男	
松田 久男 西野 一男					山城 榮信 安里 純哲		

◎委員長 ○副委員長 (委員は五十音順)

中部北環壕施設組合 議会議員(7人)	中部衛生施設組合 議会議員(4人)	沖縄県後期高齢者医療 広域連合議会議員(1人)	監査委員	都市計画審議会委員	議員数	政党	会派
安慶名 正信 大屋 政善 下門 勝 名嘉真 宜徳 文吉 暎 川上 秀友 山城 榮信	安里 純哲 徳田 政信 東浜 光雄 久高 唯昭	比嘉 敦子	奥田 修	安里 純哲 山城 榮信	法定数 34人 条例定数 34人 現員数 31人 議員の年齢 最高齢 67歳 最年少 40歳 平均 56歳	公明党 2人 日本共産党 2人 無所属 27人	新政クラブ 14人 政策研いぶき 6人 新かけはし 6人 公明 2人 日本共産党 2人 無所属 1人

# 米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する抗議決議

平成20年8月13日、午前10時17分頃、米国原子力潜水艦ロサンゼルス級コロンプスが休養、補給、維持の目的のためホワイトビーチに寄港接岸し、今なお停泊を続けている。当該原潜は、8月7日に冷却水漏れが明らかになったヒューストンと同型で、ヒューストンの冷却水漏れ事故に対する一切の原因究明、詳細な説明がないままでの入港は住民に不安を与え、住民感情を踏みにじる行為であり到底許されるものではない。

また、今回の寄港により復帰後305回、今年になって27回の寄港となっており、最多の寄港となった昨年の24回を上回り、寄港頻度が突出して増えている状況は異常な状態であると言わざるを得ない。しかも、寄港増の要因については「米軍の運用上の理由」として明らかにされないままである。

これまで、原潜寄港に対しては幾度となく強い抗議を表明したにも拘わらず、寄港を繰り返し、永年にわたり市民を恐怖と不安に陥れている行為は全くの住民軽視であり、日米両国政府の責任は重大である。

本市議会は、去った8月11日に、米国原子力潜水艦ヒューストンの冷却水漏れ事故に対して、その事故原因の究明と詳細についての説明、原潜の寄港に反対すること等を強く求め抗議決議を行なったところであるが、市民や県民の声を無視するかたちで原潜が寄港したことは強い憤りを覚えるものである。

よって、うるま市議会は、市民の生命・財産と生活環境を守る立場からホワイトビーチへの度重なる原潜の寄港に対し、厳重に抗議するとともに下記事項について強く要求する。

## 記

1. ホワイトビーチへ米国原子力軍艦を寄港させないこと。
2. 米国原子力潜水艦の寄港については明確な説明責任を果たすこと。
3. 日米地位協定の抜本的改定を行うこと。

以上、決議する。

平成20年8月18日

沖縄県うるま市議会

## 【あて先】

米国国防長官、駐日米国大使、在日米軍司令官

在日米軍沖縄地域調整官、沖米海軍艦隊活動司令官、在沖米国総領事



8月11日（月）の第38回臨時会にて、「米国原子力潜水艦の冷却水漏れ事故に対する抗議決議」の決議後、議長、基地対策特別委員会委員等で在沖米国総領事館、外務省沖縄事務所、在沖米軍艦隊活動司令部、沖縄防衛局への抗議要請行動を行った。